

瀬戸内海を展望できる小高い丘を開墾し  
築窯して以来 絶えることなく窯の火が燃え続けています

# 神勝寺焼 陶津窯

しん しょう じ やき

どう

しん

がま

神勝寺焼陶津窯は、常石造船株式会社  
社故神原秀夫社長によって、陶津窯  
三代目藤本明成を迎えて築窯された  
窯です。  
陶津窯とは、広島県に現存する最古  
の窯で、藤本陶津を初代とおおぎ、  
日展特選作家藤本肇を二代目とする  
窯です。

沼隈工房  
大門工房

広島県福山市沼隈町下山南甲一九  
TEL(〇八四)九八八一〇〇〇

広島県福山市大門町津の下甲一七二八  
TEL(〇八四)九四一〇七一五

E-Mail: [meisei@ms8.megaegg.ne.jp](mailto:meisei@ms8.megaegg.ne.jp)  
<http://www.toushin-gama.com/>

## 陶歴

### 初代

明治八年生まれ  
大正八年現在地に陶津窯(真鉄焼)を起こし  
七十有余年作陶に精進する  
京展 県美展入賞、入選数回、  
朝日新聞社主催現代陶芸展招待作家  
献上、買上げ等  
昭和三十三年中国文化賞者となる  
昭和四十二年三月 九十二歳にて永眠



### 二代

大正三年初代の長男として生まれる  
初代の指導のもと作陶と技術を学ぶ  
昭和十一年 騎兵五連隊に入隊  
昭和十三年から昭和十五年まで従軍し帰還  
太平洋戦争時代で作陶困難  
その時広島県美展 市美展に出品 地元県展審査員 京展  
朝日新聞社主催現代陶芸展入選 板谷波山創立の  
全国陶芸展東陶賞受賞 現代工芸展審査員三回  
評議員 光風会審査員多数勤める  
昭和三十一年 日展出品初入選(白耀葉文透彫盛器)



昭和三十八年 日展出品作品日展買上  
昭和四十二年 日展特選受賞 北斗賞受賞  
昭和四十三年 日展無鑑査  
昭和三十一年 第三回現代工芸展出品作品  
オーストラリア、ニュージーランド巡廻  
昭和四十六年 第四回展出品作品ベルリン祭参加  
ヨーロッパ各地を巡廻  
昭和四十九年 作品、カナダ、アメリカ巡廻  
昭和五十五年 広島文化振興基金より広島文化賞受賞  
昭和五十六年 山陽新聞社より文化功労者として  
山陽新聞社賞受賞  
昭和五十九年 第七十回光風展杉浦非水賞受賞  
昭和六十年 光風会審査主任になり以後四回勤める  
昭和六十二年 文部大臣より地域文化功労者として  
文部大臣賞受賞  
勳五等瑞宝章受賞  
中国文化賞受賞  
光風会名誉会員となる  
理事二期勤める  
平成三年  
平成四年  
平成七年  
平成二十一年八月  
九十六歳にて永眠



初代(右)と二代  
後ろにあるのが大門工房です。  
現在は当時の感じをそのまま残し、  
展示場としてリフォームしております。

### 三代(明成)

昭和十七年 広島県大門町皿山生まれ  
昭和三十七年 広島県立福山誠之館高校卒業  
昭和三十七年 東京藝術大学美術学部芸術学科入学  
昭和四十一年 同学部卒業  
昭和四十一年 東京芸術大学 大学院 陶芸専攻科入学  
昭和四十三年 同大学院卒業  
愛媛県砥部焼窯元にてロクロ修業  
昭和四十八年 広島県沼隈町にて神勝寺焼陶津窯を開く

日本伝統工芸展七回入選  
日本工芸会正会員  
福山女子短期大学非常勤講師  
福山大学非常勤講師  
NHKBSやきもの探訪番組にて全国放映される

平成十七年 陶津窯開窯の記念の地彌勒之里美術館  
にて神勝寺焼作品展を開催しはじめる  
平成二十一年 二代陶津の死去により三代陶津を襲名す



窯の中での劇的な変化に戸惑い続けている  
この“私”が完成した作品の中で、紋様と、  
土と、釉薬に助けられてほんの一寸でも  
息づいていたらとってもうれしいのです。(明成)